

当日いただいた主な質問についてのご回答

- Q. 流動性が低すぎると思いますが、どのようにお考えですか。
- A. 流動性の低さはこれまでも指摘されており、重要な課題と認識しております。2度の立会外分売を実施し若干の改善はみられたものの、未だ出来高は軟調に推移しております。当社といたしましては、引き続き機関投資家向け決算説明会や個人投資家向け会社説明会を定例的に実施するなど、IR活動を充実させ、当社への理解を深めていただくとともに、興味を持っていただける投資家を地道に増やす努力を続けてまいりたいと考えております。このほかの流動性向上策についても、今後も継続的に検討してまいります。
- Q. ターゲットとする市場の伸びはどの程度を予想していますか。自社の成長を実現するポイントは何か教えてください。
- A. ガス導管事業、電設・土木事業における主なターゲットは、エネルギー事業者における経年管の入取替を含む設備投資計画に基づく工事で、これは大幅な増減がなく安定した市場であると見込んでおります。ガス設備事業、建築設備事業における主なターゲット市場は、いわゆる住宅市場です。こちらは大都市圏の分譲マンション需要が下支えとなりますが、資材価格の高止まりや労務単価の上昇による建設コストの増加により住宅取得マインドが抑制され、新設住宅着工戸数は横ばいか、微減で推移すると見込まれております。このような状況において、当社の業績拡大を実現するためには、1つの案件において単一の工事のみを受注するのではなく、都市ガス工事、給排水衛生設備工事、電気工事、あるいは太陽光発電や蓄電池といった環境商材を含む機器工事など、当社が取り扱う様々な工事のうち複数の工事の一括受注を推進し、一戸当たりの単価を押し上げていくことがポイントになると考えております。

以上